

# 生き活きだより

東海旅客鉄道労働組合退職者連絡会（JR東海ユニオンOB会）

発行責任者 坂間 晴二



JR東海ユニオンOB会  
会長 坂間 晴二

## 新年の御挨拶



新年明けましておめでとうございます。会員並びにご家族の皆様におかれましては、心も新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私たちJR東海ユニオンOB会は、昨年第15回定期総会を開催し「高齢者が安心して生活できる社会」をメインスローガンに、健全な組織運営を目指し組織財政検討委員会での検討、仲間の絆を深める情報源である「生き活きだより」の定期発行と内容充実、相互扶助（共に助け合う共済活動）、そしてJR東海ユニオン、JR連合との連携強化の方針を決定し大いに語り合い、助け合い、仲間との親睦を深めることからの充実した生活の実現や、子供や孫たちの明るい未来に向かって活動していきます。とは言え一昨年からの新型コロナウイルスの猛威の影響を受け、日本退職者連合の「高齢者の制度要求全国高齢者集会」やJR連合の「全国会長会議・交運共済推進会議」、私たち退職者連絡会では、幹事会をはじめ各地区本部における各種活動が自粛せざるを得ませんでした。現在は第6波到来の不安はあるものの新規感染者も収束の兆しを見せています。引き続き「三密」を避けるとともに、マスク・手洗い・うがいを励行し、自己防衛にコツコツと着実に取り組みを進めて行きたいものです。

さて、今年も参議院議員選挙の年であります。選挙用の顔を挿げ替えた岸田内閣は、安部、菅政権の悪しき無責任政治から国民の目先を逸らそうとしています。大前提として政治は、政治家や財界のためではなく国民のためであります。時の政治家がどちらを向いているかで、国民の安定した生活や幸せ、心の平穏は左右されてしまう、と言っても過言ではないと思います。退職者連絡会は安心・安全・安定した生活の向上に向け、JR東海ユニオンと連携し、JR連合「国会議員懇談会」および「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属」議員をはじめとする、私たちの政策実現に向け、支援協力いただける推薦議員の全員当選に向け取り組んでいきます。

私たちが国鉄に入社したころには、当時の定年退職年齢であった55歳は、お年寄りという印象でした。しかし、今では60代は働き盛り、70代もまだまだ元気で平均寿命も大幅に伸びています。私たちも、健康に留意して、元気に老人パワーを結集して社会に貢献し、家族を大切に、より安定した生活を営もうではありませんか

会員・ご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、JR東海ユニオン退職者連絡会を代表しての新年のご挨拶とさせていただきます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



J R 東海ユニオン  
中央執行委員長 尾内 裕昭

## 新年の御挨拶

J R 東海ユニオン退職者連絡会の皆様におかれましては、2022年の新春を迎えるにあたり、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。

昨年も新型コロナウイルスの感染に翻弄され続ける中、エッセンシャルワーカーとして感染リスクに晒されながらも、ユニオン現職組合員は国民生活・経済活動を支える社会インフラである鉄道事業および医療の維持に対し、強い使命感を持って精励してきました。

未だ、新型コロナウイルスの感染における苦難な事態は有るものの、ワクチン接種や経口薬の開発なども進んできており、新型コロナウイルスの克服による after コロナへの時代に進展してきています。明るい未来に向けたステップアップの年となるよう祈念するばかりです。

さて、中央本部は今年の定期大会において新たな執行体制がスタートしました。JNR 世代の諸先輩からオール J R 採用の役員にバトンタッチしていますが、諸先輩方が築き上げていただいたユニオン運動をブレずに継承し、中期目標「UNION FUTURE ⇒2027」で謳っている組合員が主役の運動「みんなでアクション！」を着実に推進していく所存であります。

今年の活動を振り返ってみると、やはり新型コロナウイルスの影響により、一丁目一番地であるコミュニケーションを最重要とする労働運動が出来ず、レクリエーション活動をはじめ多くの活動が制約されました。

しかし、年末における秋の全職場総対話行動については、各機関で工夫を凝らして開催していただき、Web を駆使した開催、時間短縮とフィジカルディスタンスを確保する会場運営による対面開催も多くの機関で実施していただきました。

引き続き、対話の充実に基づきユニオン運動で掲げる柱「安全の確立」、「組織の活性化」、「ハートフルカンパニーの実現」の実践に向け、この間築いてきた労使関係を礎に、J R 東海ユニオン「ONE チーム」で力強く展開していく決意です。

結びに2022年が、退職者連絡会の皆さんにとって、穏やかで素晴らしい年となるよう、また、健康に、元気に、そして、楽しくご活躍されることを祈念申し上げます。

# 新年のご挨拶



交運共済東海事業本部  
事業本部長 菅沼 恒夫

新年あけましておめでとうございます。

交運共済東海事業本部の事業促進活動に対しまして、絶大なるご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でありましたが、コロナワクチン接種の浸透により若干ではありますが、明るい兆しが見え始めたのかなと思われまふ。再びの流行を抑えるための感染防止対策に万全を期して参りたいと考えております。私たちができることは、すっかり定着化が進んだ手洗い・うがい・マスクの着用に努めることだと思ひます。一日でも早い日常生活が取り戻せるよう、心掛けていきたいと考えております。

さて、昨年も集中豪雨や台風などによる自然災害が発生し、甚大な被害がもたらされました。これらの災害によって被災されました組合員の皆様には、心からお見舞いを申し上げたいと思ひます。私ども全国交運共済生協は、組合員の皆様に「生活に保障と安心」を提供できるよう、これからも緊張感を持ち日々の業務に取り組んで参る所存です。

また、新経営計画「2021・3カ年改革ビジョン」の最終年度も残り3カ月となりました。今日までの取り組みをしっかりと検証し、次の経営計画の中に生かしていきたいと思ひます。

あわせて、私ども「全国交運共済生協」は、組合員の皆様に対する「利益の確保」と、生活への「安心と信頼」を持続的に守っていくために、2023年7月1日から「こくみん共済coop<全労済>」に契約移転を行っていくことになりました。すべての契約者の皆様が、安心して契約移転ができますように引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、切にお願いいたします。

最後になりますが、この新しい年が組合員様とご家族の皆様にとって、より良き年となりますように祈念し、交運共済東海事業本部を代表し、新年のご挨拶とさせていただきます。

交運共済

家族を守るのは、あなた。  
あなたを助けるのは  
共済です。

火事、交通事故、病気…などの人災。  
地震、台風、風水害…などの天災。  
どちらも、家族の幸せにボツカリと穴をあけてしまいます。  
家族の笑顔を守るために共済をご利用ください。

みんなで暮らしをガード  
交運共済 (JF 株式会社)  
全国交運共済生協を共同生活協賛会

家族の幸せを災害から守る  
火災共済/地震風水害共済/  
交通災害共済/生命共済/入院共済

2021年11月9日第15回定期総会がJR東海ユニオン名古屋本部開催され、副会長に選任されました梅村佐斗示と申します。ユニオン結成時に関西地本執行委員として参画し、その後、電力信通所分会の京都と大阪の分会長を歴任し、平成14年助役となって役職から退任しました。平成21年から関西地本の副委員長を6年勤めさせていただきました。



副会長 梅田 佐斗示

OB会の皆さんは、国鉄に就職し、分割民営という激動時代を経験し、JR東海に就職しました。鉄道という業種は、各専門分野の知識・技能を出し合っただけでマッチングさせて、ご利用していただくお客さまを安全に目的地まで輸送させることが使命です。今年の春先、お客さまが少ないとは聞いていましたが、京都駅上りホームで一人のお客さまとも出会わないことにびっくりしました。コロナ禍でいろいろと制限され、やっといろいろな制限が緩和され、出歩くこともできるようにはなりましたが、家の中に慣れたせいか制限緩和になっても家に居るのが現実です。今後コロナがどのようなようになるか想定はできませんが、ユニオンOB会の皆さんに、ユニオン活動に参加し、同じ時代を過ごした仲間とたわいもない話ができる場を設けますので、これからも積極的にご参加ください。



副会長 榑本 碩哉

去年は、コロナ禍の中でいろいろな姿が垣間見えました。その一つが冷戦下における米中間の対立です。米国は発生当初自由を重んじマスクすら推奨せず、一方の中国は武漢を二か月半にわたり都市封鎖しました。習国家主席は「共産主義の指導と、我が国社会主義制度の明らかな優位性を示した」と体制の優位を宣伝しています。しかし、いくら感染を抑え込み、経済的に台頭しても個人が尊重されず自由や人権が軽視される社会は到底健全だとは言えません。メルケル独首相は「私たち民主主義国家は、何かを強いられるのではなく知識を共有し、活発な参加を促すことで繁栄する」。黒人初の米

副大統領ハリス氏は「民主主義は決して保証されたものでなく、私たちの意思があつてこそ強くなる」と訴えました。このコロナの時代こそ民主主義の原点・足元から社会問題を考える機会ではないでしょうか。さらに今回新型コロナ対策では都道府県の知事の役割の重要性も再認識されました。衆議院選挙では存在感ある責任野党を対峙させる必要性が問われています。新しい年を迎え、課題の多い年となりそうですがその一翼を担っていきたくと決意を新たにします。

新年あけましておめでとうございます。会員、並びにご家族の皆様におかれましては良き年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

去年は、長期化した新型コロナウイルス感染のため、広範囲にわたって社会・経済に大きな影響をもたらしてきました。

私たちOB会の活動も各種会議や、行動に制限を設けるなど、運動の停滞を余儀なくされました。今年こそは一日も早く、平常の生活が送れることを望みます。

私たちユニオンOB会は、地域活動の充実を活動の基本にしています。現在、退職年齢は60歳となっていますが、専任社員制度などで65歳までは継続して勤務しているのが実態です。各地区本部（関東・静岡・飯田・名古屋・三重・関西）も65歳以上の会員で活動しているのが現状ですが、定年退職後の60歳から各地区本部主催のOB会活動（ハイキング、旅行会、ゴルフ等）に参加して、親睦を図っていただくことを望みます。



事務長 松葉 幸三

多くの皆様が各地区本部の活動に関わり参加し、そして語り合うことにより、高齢者の充実した生活を送っていくことを願っております。



幹事 広脇 渉 三重地区本部会長

皆様あけましておめでとうございます。

昨年はコロナに始まりコロナで終わった1年でした。いくつかの行事も計画しては中止となり、なんだか人と会わないことが普通となり、人と人との関係が薄れてしまったような気がしてなりません。私も怪我をして夏場に2カ月ほど自宅で静養しておりました。畑の草は伸び放題でしたが、何とか稲刈りだけは近所の方が助けてくれました。地区の役員もしておりますがそれらも仲間が応援してくれました。

いまさらながら、仲間のつながりを大切に思ったことはありませんでした。

コロナが収まったら、もう一度、仲間たちとの連携を深めたい。それができる新しい年にしたいと思います。

皆様のご協力をよろしくお願いします。



幹事 小縣 八郎 名古屋地区本部会長

名古屋地区本部の会員数は2319名です。これまでご先輩の皆様が苦勞してOB会を育み育てて頂き感謝を申し上げますと共に、ご足勞に対し敬意を表します。

2025年問題では、75歳以上の方達が現在、1800万人です。3年後には2200万人となり、5人に1人が75歳以上となります。団塊世代(S22年~24年誕生)と言われる人達です。名古屋地区本部は、平成29年に連合愛知シルバー倶楽部へ仲間入りし、倶楽部の仲間の皆様と活動を展開してきました。

今後も、私達は会員の皆様に参加しやすいイベント等を計画し、多くの皆様に参加できますよう努力します。JR連合退職者連絡会を基軸にOB会本部、JR東海ユニオンの指導のもと、平和で公正な社会を目指して活動を展開していきます。



幹事 沖山 松人 飯田地区本部会長

「コロナ」に明け暮れて3年目。それぞれの地域で、立場で新しい年を迎えられたことと思います。

平成元年の10月「第13回定期総会」を開催し、今後を見ずえて、役員体制の若返りを図りました。残念ながら「コロナ」の影響で、令和2年2月の「交運共済勉強会・新年会」の開催以来、諸行事が実施できませんでした。

今後の活動は、組織数、財政等も考慮し、ユニオン飯田支部との合同開催を行っていきます。昨年の「衆議院選挙」の結果、「各政党、政党間」で動きが始まっています。「政治に無関心でいられても、政治と無関係でられない」

明るく、元気に毎日を過ごし、交流会でお会いしましょう。



幹事 岡 孝治 関西地区本部会長

会員、ご家族皆さん、新年あけましておめでとうございます。

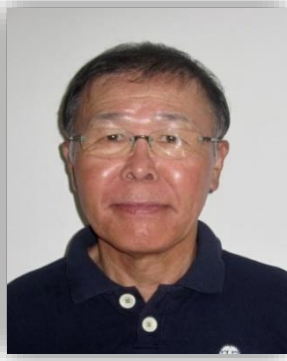
関西地区OB会員は、現在880名を超えています。

「一人一人が生き生きと暮らし、明るく生活を送ること。」を目標に掲げています。会員どうし声を掛け合いOB会活動に邁進していきましょう。

新型コロナウイルスの変異株の感染が世界に拡散しています。

今一度、基本的な感染対策を徹底することが重要です。

今年の干支は「寅」です。虎のように前に向かって突き進む力強さで、今年も皆様と一緒に乗り超えていきましょう。



幹事 久保田康司静岡地区本部会長

新年、明けましておめでとうございます。  
これまで、約二年間の長かった「コロナトンネル」  
の中で、私たちの様々な取り組みも自粛をせざる  
を得ませんでした。

貴重な交流、親睦の場を持てなかったことは残念  
でしたがようやくその出口が見えてきたように  
思います。

今、第六波の懸念も言われていますが、本年が  
明るく素晴らしい一年であってほしいと願うのは  
誰もが抱く共通の想いです。

静岡地区でもそんな一年とするために皆さまと  
一緒になって努力したいと考えています。



幹事 大沼治雄関東地区本部会長

新年明けましておめでとうございます。会員、  
ご家族の皆様におかれましては良き新春を迎えら  
れたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、コロナ禍での一年となり、社会生活の  
うえで大変厳しい年を過ごされました。本年は明  
るく先が見える社会へと進んでいけますよう皆  
様と力を合わせ良い年としたいものです。令和4  
年が会員の皆様にとって、実り多い年となります  
ことを祈念しまして、新春のご挨拶とします。本  
年もどうぞよろしくお願い致します。

## 新年の御挨拶（OB会担当）

新年明けましておめでとうございます。

一昨年からのコロナ禍により不自由な生活をしいられていると感じ  
られた方もおられると思いますが、私もまさにそう感じています。現  
在、単身赴任中ですが、緊急事態宣言期間中は自宅に帰れませんでした。  
そこで、「この機会に何かできれば」とも考え、いろいろなものを通  
販で購入しましたが、結局のところ手付かずとなっています。まだコ  
ロナ禍に向き合っていない状態です。ですが、今年は新たな気持ちで  
コロナ禍に振り回されないよう**虎の様に力強く**、感染防止には十分に  
注意しながら、できるだけ楽しめるよう過ごして行きたいと思いま  
す。そうしていれば、やがて必ずコロナウイルスは収束していくは  
ず。そう信じて、JR東海ユニオンの活動にも新たな気持ちで前向きに  
取り組んでいきたいと思えます。未来に向かってコロナ禍を乗り越えて  
行きましょう！本年もよろしくお願い申し上げます。



JR東海ユニオン  
中央執行副委員長  
丸山 知章

# 「JR東海ユニオン退職者連絡会」

## 第15回定期総会開催

2021年11月9日（火）10時から、JR東海ユニオン名古屋本部において、第15回定期総会を開催しました。議長には名古屋地区本部荻野氏を選出し、議事進行がなされました。

来賓には、JR連合退職者連絡会から高野富夫会長、JR東海ユニオン尾内裕昭中央執行委員長、丸山知章中央執行副委員長、交運共済東海事業本部の菅沼恒夫本部長にお越しいただきました。



来賓の挨拶では、高野会長、尾内委員長から、主に衆議院総選挙の結果報告並びに情勢報告がありました。

また、交運共済の菅沼本部長からは、「こくみん共済 coop<全労済>への契約移転について」の現在までの交渉状況等の説明がありました。

現在加入している交運共済の保険等については、2023年6月30日、個別契約の満期更新時に一度解約して、7月1日に改めて、こくみん共済 coop<全労済>に新規加入することになります。

契約移転に際し、契約の取扱い、利用できる共済制度、各種手続き方法などは、こくみん共済 coop<全労済>と交運共済による「準備委員会」において、引き続き協議中です。協議内容については、順次、交運共済からチラシ等で、周知することになっています。

総会議事内容については、2019年度、2020年度「第1号議案（経過報告）、第2号議案（決算報告）、第3号議案（決算処分案）」、2021年度、2022年度「第4号議案（活動方針）、第5号議案（議案予算案）」、第6号議案（役員を選出）などが松葉事務長から報告があり、出席代議員等委員全員により了承されました。

2021年度役員体制は、会長 坂間晴二（静岡地区：留任）、副会長 梅村佐斗示（関西地区：新任）、副会長 榊本碩哉（名古屋地区：留任）、事務長 松葉孝三（関東地区：留任）、会計監査家木晃（三重地区：新任）、会計監査 沢柳実（飯田地区：留任）に決定しました。なお、幹事は各地区本部会長が選出されました。

